

葉山の仲間たち

2017年3月25日発行 第29号
 認定NPO法人葉山まちづくり協会
 〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
 町立図書館2階
 TEL&FAX 046-876-0421
 e-mail: o ce@hayama-npo.or.jp

葉山まちづくり協会 検索



手描きの作物一覧。2016年の見事な結晶

約二十五年。寺前谷戸ではその経験を生かし、アドバタイザー的な立場となつていく。里山は刻々と変化している。畑作を中心にこのフィールドへの興味は尽きません」という。



収穫を祝う宴もたけなわ
 不要になった石臼
 募集中です。

子供のころ、実家の菜園で父親と肩を並べて野菜を育てた。農作業のかたわら、そのときのことを思い出すと、「いま思えば当時はたんに手伝っていただけ。自分で畑をやるのとはぜんぜん違う。ただ畑が面白い場所ということには知らず知らず学んでいたかもしれません」と語るのは加々尾泰郎さん。プロジェクトのリーダーで、谷戸を切り開き、耕作者を募った発起人でもある。

「昔から風土とともに生きることへの憧れがあった」と語る伊藤さん、それを何より実感できるのが里山での農作業。現役イラストレーターとして多忙な日々を送りながら、暇を見ては畑に足を運ぶ。

小学生にしてトマトやナス、メロン、雑穀などを育て、筋金入りの畑作少年だったのが田中尚彦さん。当時買った『西洋野菜』という本はまだ手元にあるという。同じ上山口内の栗坪に畑を持ち

畑を去りぎわ、ここで採れた大根をいただいた。ほのかな甘みとやさしい香り。炊いて味わうと、そのしみじみとしたおいしさに、里山ののどかな風景と大切に育てられた時間が広がった。それはまるで、夢のおすそ分けだった。

上山口寺前谷戸で休耕農地を復旧させ「援農」という名目で楽しみながら農作業に取り組んでいるグループがある。「二子山山系自然保護協議会」農園管理プロジェクト。その畑を訪れ、大人が夢中になる農作業の魅力をたずねた。

土に触れて夢を見る

開拓はホタルの棲息地を確保するためだったが、現在は畑に夢中。ほぼ毎日通っている。「畑の魅力は一言ではいえません。里山のおいしい空気のおかげで作業すると爽快な気分になるし、仲間に会うのも楽しい。初心者も多かったのですが、みんな勉強熱心で刺激を受けます」中心メンバーは四十から七十代。年代も幅広ければ参加した動機もさまざま。年間に収穫する作物は二十数種類。個々に取り組むものもあれば、米、麦、そばなど共同で育てる作物もある。

その伊藤さんにそばづくりのリーダーとしてスカウトされたのが、そば打ち名人の村上巨司さん。信州で見た耕作地の美しい風景を思い出し、まずは「畑一面にそばの花を咲かせよう！」と一念発起。野ウサギ除けのネットを被せたために、実際には想像どおりとはいかなかったが、種から自分で育てたそばを打ち、仲間と味わう体験は格別だった。



畑に咲いた可憐なソバの花

仲間が増えいくのも畑の楽しさ。最近では寺前グループの熱心さに影響を受け、みんな葉山ブランドと呼べる野菜をつくりたいという新しい夢も芽生えた。ここでは大人が「夢」を見る。その夢を、自分で土壌をつくり、種を蒔き、育て、実を結ばせる畑仕事をとおして、一歩一歩実現に近づけている。若い頃のような見果てぬものではないけれど、成熟した夢だ。里山の土や空気、太陽から得られるパワーがそれを後押ししている。仲間が集まればさらに夢は膨らみ、ここ寺前谷戸でも次はマコモ、いや南米産の雑穀だ、と次から次へと生育計画が持ち上がる。なるほど畑は尽きぬ面白さを生む場所なのだ。



今年はどうな感じ？

葉山町との協働イベント ※葉山町公式アカウントに投稿してください！
 インスタグラム「葉山は楽しい！」写真展 5/15～5/25 役場ロビーにて

第17回 葉山まちづくり展

今年で17回目を迎える「葉山まちづくり展」のご案内です。今回のテーマは「葉山は楽しい！」。葉山ならではの豊かな自然環境などを知り尽くして活動している団体ばかりが、当日お待ちしております。まずは展示会場・チラシで各団体の活動を知り、興味をもったらイベントに参加してみましょ。葉山の豊かな自然・文化等が満喫できる「葉山の楽しさ」を実感すること間違いなしです。

参加型のイベントが増えてますます楽しくなるんだって



自然 (海・山・里)

山歩きハイキング(大楠山)・二子山山系巡視体験・イノシシ被害対策・自然保護・メダカ・森戸川源流観察会・棚田見学会・夜の里山自然観察会・森戸川林道観察会・自然環境問題・緑化対策・親子海の安全教室など。

歴史・文化・体育

郷土誌最新号の紹介と販売・長柄桜山古墳・文化財巡り・60才からの音楽教室「ボイストレーニング」・模擬詩吟教室・ヨガの効能・自転車安全教室・「葉山ふるさと絵屏風」展示と説明・文化協会加盟団体の活動紹介・体育協会加盟団体の活動紹介など。



鑑賞・聴講

「葉山と緑の自然フォーラム」・葉山は楽しい「ミニコンサート」(歌と大正琴の花園、アンコール葉山、真名瀬カラオケ同好会、森戸ふれあいさん)・シンポジウム「葉山のvisionを考えよう(福祉『自助、共助』)」。

その他

子育ての里「食と遊」・交通問題・防災・石けんを作ろう・磯の生き物タッチプール・木工竹細工教室・ひと箱ぶつぶつ交換市。

ものづくりの楽しさを体験!



風 早 いらっしやい

葉山の入口134号線長柄交差点から葉山隧道までを網羅するエリアを拠点に活動している「かざはや商店会」。新しいお店も増え、イベント開催などの商店活性化の活動で話題を呼んでいる。いま、「風早」地域から目が離せないのです。

「行ってみたい！」「お店がいっぱい」

発足は2009年。約40店舗が参加する「かざはや商店会」。

地域の商店会が減少傾向にあるなか「もつ一度商店会を！」と地元のベテラン店主と町外から移ってきた若い店主らが、地域の絆を強めたいと商店会の発足に奔走した。

参加店舗同士で年2回の懇親会を開催し、情報交換をしている。そうして店舗同士で良好な関係を築き、人と人とのつながりが町の活性化につながると考えている。

近年新しいお店がどんどん参加し、かざはや地域がさらに盛り上がりつつある。まず134号線、長柄方面から風早橋方面に歩くと右手から香辛料のいい香り

がただよってくる。窓越しにインド人のシェフとキッチンが見える。秋谷、逗子とお店を構えたのち、長柄にオープンしたお店「あっぷーがる」。大きいナンは食べこたえがあつて、大人も子どももお腹が大満足。

そしてさらに進むと左手に手描きの気になる看板が見えてくる。「風早橋ガーデングリルカフェ」。小道を入ると時の流れを感じる古民家と広い庭。そして、葉山の心地よい風も相まって贅沢な空間が広がっている。炭火で焼きあげるグリル料理が自慢。

国道沿いをさらに歩くと左手に白いドアと透明なプレートが目に入る。「Rihand」(リハンド)。完全予約制、一日限定3組のエステティックサロンで、心も身体も解放される贅沢な時間を過ごす。

そして右手にはベテラン店主の営業する大判焼「和楽」と蕎麦に酒に時間を忘れる「もり兵衛」。そこを過ぎて葉山隧道手前を海岸に向かう。

あっぷーがる
 特製カレーは30種類以上
 王様のインド料理
 046-884-9716
 堀内 626-6
 11:00 ~ 22:00 (夏期は22:30まで)
 www.appughar.jimdo.com

**風早橋ガーデン
 グリルカフェ**
 心地よい古民家のお庭で
 楽しいひとときを！
 046-801-2120
 堀内 634
 12:00 ~ 暗くなるまで
 gardengrillcafe.wix.com/
 kazahayabashi

Rihand リハンド
 癒されながら美しく
 オールハンドのリラクゼーションサロン
 046-875-4301
 堀内 670
 11:00 ~ /14:00 ~ /17:00 ~
 rihand.jp

プロのトレーナーがいる
 プライベートジム
 090-4186-2020
 堀内 744-7 2F
 7:00 ~ 22:00 (日曜のみ 19:00 ~ 23:00)
 ysbodyfactory.com
Y'S BODY FACTORY

15brewery
 ファイフティーンブルワリー
 15brewery (ファイフティーンブルワリー)を訪れ「クラフトビール」を飲むとそれまでのビールの観念が変わる。ビールは「とりあえずの1杯」と位置付けていたが「個性のある味わい深い嗜好品」だと気がつく。「CRAT」という単語を辞書で引くと「手作りの工芸品、または手作りの感じを持たせた手工芸による製品」とある。まさにそれだ。オーナーが思いを込めて作り出すビールは「職人の作品」だと感じる。

仙元山の麓、海からの風が通る風早の醸造所で作られる少し炭酸をおさえたビールにはそれぞれのもつ独特の味わいと豊かな香りがあり、これこそが葉山らしい風味なのだといふわりと感じる。店内はオーナーが撮った写真がいくつ飾られただけのシンプルなスタンディングバー。その質素さがなんとなく心を落ち着かせてくれる。初めて来たのに、受容される気持ちになれるのはアウェイ感がないからだといふ気が付く。窓に面したバーカウンターで見慣れた景色を眺めながら草や花の香りのするビールを口に含む。合間にオーナーと交わす葉山の話、ビールの話、人々の話。肩の力がすーっと抜けていくのはここに自分が暮らす「葉山」を感じるからなのだ。

堀内 744-7 1F
 16:00 ~ 21:00(LO 20:30)
 15brewery.blogspot.jp

人が集まる公園 「なかよし広場」

木の下交差点ほど近く、図書館のそば。防災広場隣の「木の下なかよし広場」は、じつはちょっとした賑わいスポットだ。

平日は朝9時から近所の保育園の子ども達が遊びに来る。保育士さんによれば、「ここはよく日が当たるので冬でも暖かく、思いきり動き回ると子ども達は真冬でも鼻の頭に汗をかきます」。幼稚園帰りの子ども達が滑り台で遊び、お母さんはベンチでひと休み。放課後には小学生達が暗くなるまでサッカーに興じる。休日にはキャッチボールをする父子の姿も見られ、「こんなに人が集まる公園は最近あまり見かけない」と驚く人もいるほどだ。

管理しているのは木の下町内会。企業の保養所だった土地を、町から委託され熱心に整備している。町内会長も一人で4時間かけて草刈りをする。「今後は高齢者にも安心して公園を楽しんでほしい。そのためにトイレの設置が目標」とのこと。



にぎやかな声がいつも聞こえる

十年前の春、町民有志で百日紅の植樹が行われ、夏は鮮やかに咲き誇る。ここは葉山の百日紅の名所となり、さらに多くの人で賑わうだろう。

2015年5月オープン
 九州博多料理を是非・・・
 046-854-9933
 堀内 764-8 2F
 16:00 ~ 24:00
博多さか本

桜の名所仙元山を
 「風早」の顔に

芽がふくらみ、成長を待つ桜

店舗同士の関わりがひろがり、人がつながり、町全体が活性化していく。商売のわくを離れ、現在、賛同する人たちで活動しているのは「仙元山の保全活動」。時間をみつけて仙元山のトイレの清掃や山道の整備活動をしている。

そこには、「桜の木を取り戻したい」という思いがある。かつてはあった桜の木が時を経て朽ちてしまった。そのことを知った商店会のメンバーがたちあがり、仙元山を桜の名所としてかざはや地域の顔にしたいという思いで活動をしている。

現在、4本を植樹、4月に4本さらに植樹する。植樹までには木の伐採のために何回も仙元山に登った。道具は自前でそろえているが、消耗品のため、財政的にはなかなか厳しい。だが、それが地域、ひいては町の活性化につながると信じて、活動を続けている。

マップの作成やSNSを 使った情報発信

かざはや商店会ではかざはや地域の情報を網羅したマップを発行して、参加している各店舗に置いてある。またフェイスブックやツイッターなども使い、イベント情報などを発信している。

「葉山かざはやマップ」では、加盟店の紹介や所在地などが記載されていて、

作った人のこだわりを感じる
 デニム調のおしゃれなマップ

自動車修理半世紀の男の年輪

野川自動車修理工場(上山口) 野川政一さん

「葉山から横須賀方面への自動車通りにある野川自動車修理工場は、往年のフランスの名優ジャン・ギャバンの面影がある大将がやってくるんだよ」と人は言つた。その工場は車検・定期検査をはじめ、車の不具合を一手に引き受ける。葉山に4軒ある陸運局認証工場の1軒で、昭和45年4月に始まった。

事務、経理をはじめ、洗車、車検場までの運転など一人何役もこなしている奥さん。「私は雑用一手引き受けなのよ」とこともなげに言つた。

野川自動車には、警察、消防車など公用車の利用も多い。それだけ信頼されているのである。車検は、安全が確認できれば、中古部品で修理するなど、できるだけ使用者の経済的負担を軽減するよう

現在、息子さんも整備の資格を取得し、いっしょに働いている。「エンジンはじめ各部品の性能が良くなっているのです。昔より大きな修理は減っているけれど、車も人間と同じでメンテナンスが必要。責任のある仕事です」と政一さん。

政一さんは多趣味で杉山神社の神輿「葉杉會」の発起人でもある。神輿を担いで三十年以上、葉山をはじめ横須賀の神輿にまで応援に駆けつけ、肩には神輿だこ。事務所には眞名瀬神輿の「浜降り渡御」の写真。工場も神輿も若い世代に受け継がれていく。

そこには葉山 横須賀街道の半世紀にわたる流れをみつめてきた男の渋い年輪があつたのが印象的だ。どことなく名優の風貌が



どことなく名優の風貌が